

3.2 陸生動物の移動対象種

3.2.1 樹林性及び湿地性の対象種

陸生動物のうち樹林性及び湿地性の移動対象種には、評価書において保全対象種に選定された種のうち捕獲・移動を行わないカラスバトを除く 16 種に、評価書に係る調査以後の継続調査で新たに確認された重要な種のうち、評価書の選定基準（図-3.2.1）に該当する 6 種を加えた 22 種（両生類 1 種、爬虫類 2 種、昆虫類 12 種、クモ類 1 種、陸産貝類 6 種）を選定した。選定した移動対象種を表-3.2.1 に示す。

表-3.2.1 樹林性及び湿地性の移動対象種

分類群	種名	評価書以降の確認種の追加選定基準 ¹⁾	重要な種選定基準 ^{2), 3)}		
			A	B	C
両生類	イボイモリ		VU	VU	県天
爬虫類	オキナワキノボリトカゲ		VU	VU	
	アマミタカチホヘビ		NT	NT	
昆虫類	オニヤンマ			NT	
	オキナワサラサヤンマ		NT	NT	
	リュウキュウトンボ			NT	
	ヒメミズカマキリ			NT	
	コウトウコガシラミズムシ	③調査地域の生息状況	NT		
	ヒメフチトリゲンゴロウ		VU	DD	
	リュウキュウオオイチモンジマゲンゴロウ		NT	NT	
	リュウキュウモウセンハナカミキリ	③調査地域の生息状況		DD	
	オオシマミドリカミキリ	③調査地域の生息状況		DD	
	フタオチョウ		NT	NT	県天
	ヤママユ沖縄亜種	③調査地域の生息状況		NT	
クモ類	キノボリトタテグモ		NT		
陸産貝類	リュウキュウゴマガイ		VU	VU	
	ノミガイ		VU		
	サカヅキノミギセル	①指定及び選定状況	CR+EN	VU	
	オキナワヤマタカマイマイ		VU	VU	
	ウロコケマイマイ		CR+EN	EN	
	トウガタホソマイマイ		CR+EN	EN	

注)1. 追加選定の基準の詳細は図-3.2.1 に示す。

2. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- A: 「Red Data Book 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 3 爬虫類・両生類」(環境省、平成 26 年 9 月)、「Red Data Book 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 5 昆虫類」(環境省、平成 27 年 2 月)、「Red Data Book 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 6 貝類」(環境省、平成 26 年 9 月)、「Red Data Book 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 7 その他無脊椎動物(クモ形類・甲殻類等)」(環境省、平成 26 年 9 月)の記載種

B: 「改訂版レッドデータおきなわ一動物編一」(沖縄県、平成 17 年)の記載種

C: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 25 年 6 月法律第 37 号)及び文化財保護法並びに沖縄県及び名護市の文化財保護条例による天然記念物指定種

3. 選定基準における略号は以下のとおりである。

CR+EN: 絶滅危惧 I 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、県天: 沖縄県指定天然記念物

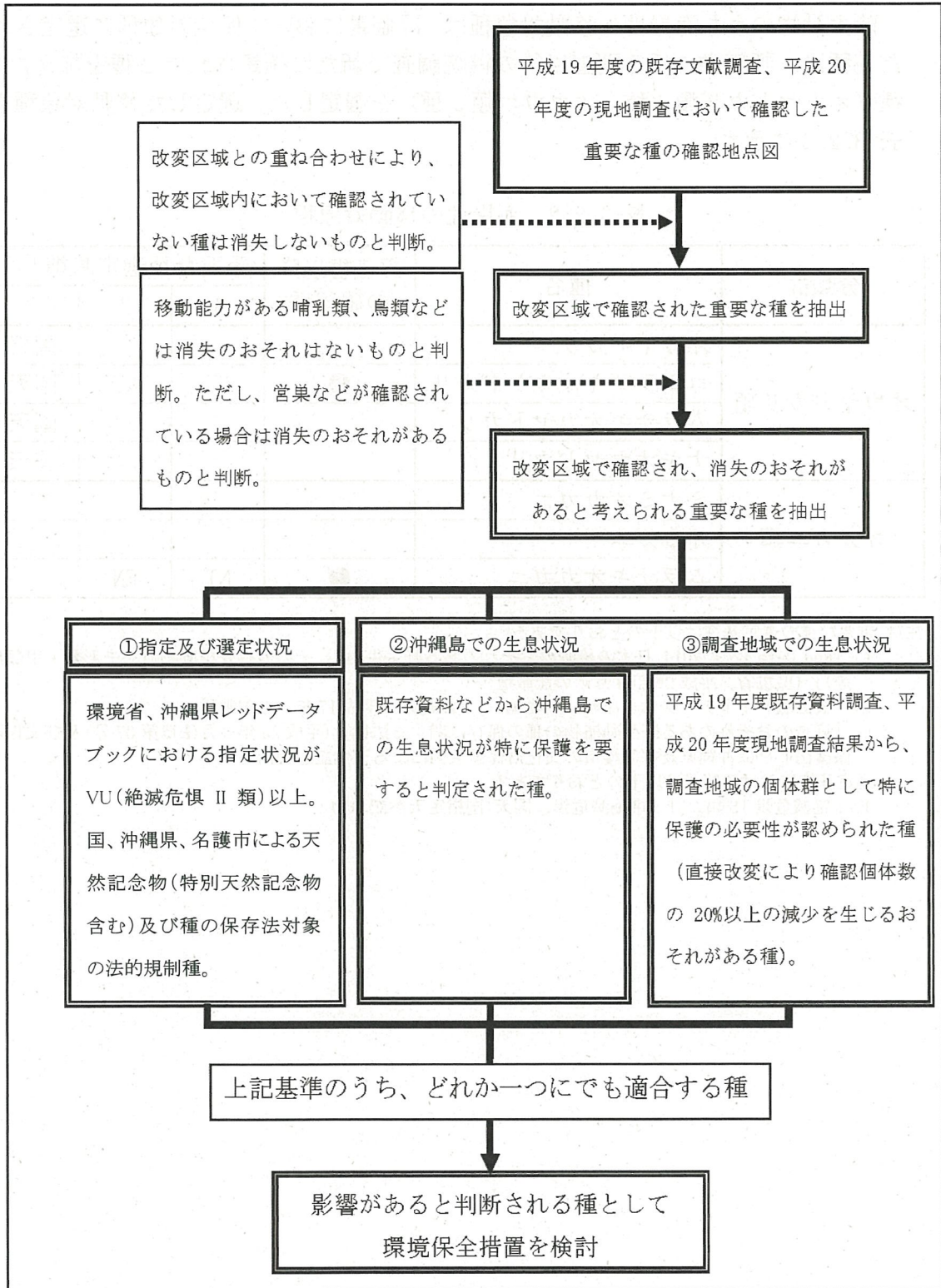


図-3.2.1 移動対象種の選定基準

(評価書 p. 6-17-108 「予測の流れ(工事中の土地改変による影響)」に加筆)

3.2.2 海岸性の対象種

陸生動物のうち海岸性の移動対象種は、評価書において保全対象種に選定された5種に、評価書に係る調査以後の継続調査で新たに確認された2種を加えた7種（オカヤドカリ類4種、オカガニ類3種）を選定した。選定した移動対象種を表-3.2.2に示す。

表-3.2.2 海岸性の移動対象種

分類群	種名	評価書以降の確認種	重要な種選定基準 ^{1), 2)}		
			A	B	C
オカヤドカリ類	オカヤドカリ				国天
	コムラサキオカヤドカリ	●	NT	NT	国天
	ムラサキオカヤドカリ				国天
	ナキオカヤドカリ				国天
オカガニ類	ミナミオカガニ				
	オカガニ				
	ムラサキオカガニ	●	NT	EN	

注)1. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- A: 「Red Data Book 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物7 その他無脊椎動物（クモ形類・甲殻類等）」（環境省、平成26年9月）の記載種
- B: 「改訂版レッドデータおきなわ動物編一」（沖縄県、平成17年）の記載種
- C: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成25年6月法律第37号）及び文化財保護法並びに沖縄県及び名護市の文化財保護条例による天然記念物指定種

2. 選定基準における略号は以下のとおりである。

EN: 絶滅危惧IB類、NT: 準絶滅危惧、国天: 国指定天然記念物

3.3 陸生動物の移動先

3.3.1 樹林性及び湿地性の対象種

樹林性及び湿地性の対象種における移動先は、移動対象種の分布状況及び生息環境をもとに、以下の手順で選定した（図-3.3.1 参照）。

【手順】

- ① 移動元における移動対象種の現地確認状況及び既存知見に基づく生態情報から、生息環境条件（生息基盤、植生、開空率、水の性状、流路幅、底質等）を把握。
- ② 移動先候補における移動対象種の分布状況、生息環境条件を現地踏査により把握。
- ③ 取得した移動元及び移動先候補の生息環境条件に基づき、下記の観点から移動先候補の適正を評価。
 - ・ 移動対象種が生息していること
 - ・ 移動元と類似の生息環境条件が存在すること
 - ・ 改変区域からの一定距離の離隔があること
 - ・ アクセス性
 - ・ 生息環境の広さ
- ④ 移動元からの近接性に基づき移動先を選定。

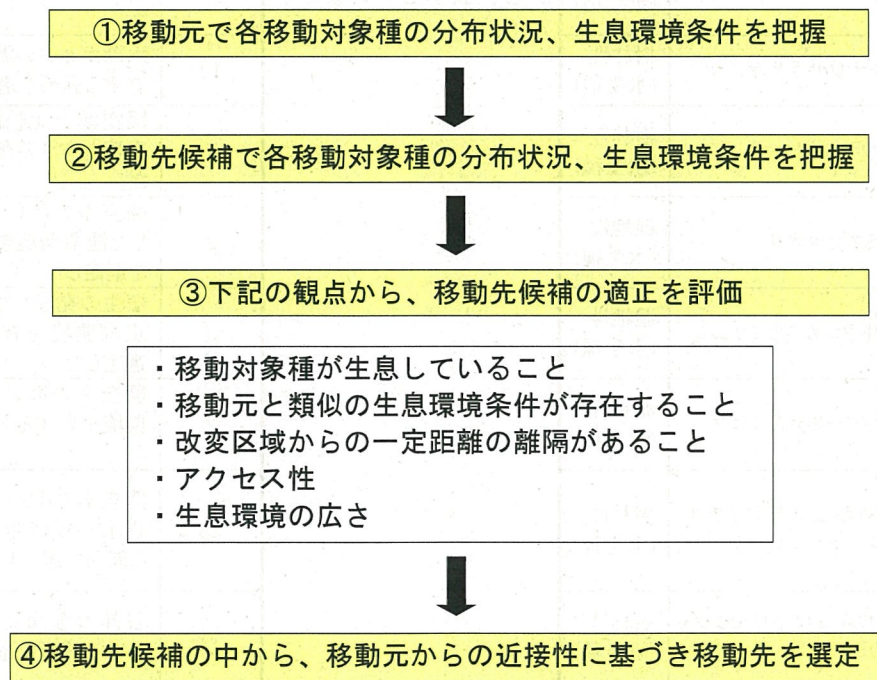


図-3.3.1 樹林性及び湿地性の対象種の移動先選定手順

樹林性及び湿地性の対象種の移動先候補についての選定結果を表-3.3.1に、移動先位置図を図-3.3.2に、それぞれ示す。各移動対象種に関して複数の移動先候補を選定しているが、遺伝的攪乱を回避するため、これらの移動先候補地の中から移動元からの距離が最も小さい箇所を移動先とする(図-3.3.3)。

表-3.3.1(1) 樹林性及び湿地性の対象種の移動先候補についての選定結果

移動対象種			移動先候補の選定状況		
分類群	種名	生活型	選定箇所一覧	選定数	選定の概要
両生類	イボイモリ	樹林性 (水生種)	※重要な種の保護の観点から、表示していません。	29	卵及び幼生の生息環境である源流等の溜りを有する箇所を選定した。
爬虫類	オキナワキノボリトカゲ	樹林性 (陸上種)		35	道路に近接しない樹林地の多くの箇所を選定した。
	アマミタカチホヘビ	樹林性 (陸上種)		26	転石・倒木の多い湿潤な樹林環境を有する箇所を選定した。
昆虫類	オニヤンマ	樹林性 (水生種)		11	開空率が比較的高い緩流環境を有する箇所を選定した。
	オキナワサラサヤンマ	樹林性 (水生種)		12	水深が小さい源流溜り等を有する箇所を選定した。
	リュウキュウトンボ	樹林性 (水生種)		7	開空率が比較的低い細流環境を有する箇所を選定した。
	ヒメズカマキリ	湿地性 (水生種)		2	開空率の高い植生の発達した池沼環境を有する箇所を選定した。
	コウトウコガシラズムシ	湿地性 (水生種)		3	植生の発達した水深のある止水環境を有する箇所を選定した。
	ヒメフチトリゲンゴロウ	湿地性 (水生種)		2	開空率の高い開けた池沼環境を有する箇所を選定した。
	リュウキュウオオイチモンジシマゲンゴロウ	樹林性 (水生種)		25	開空率の小さい暗い溜り等止水～緩流水環境を有する箇所を選定した。
	リュウキュウモウゼンハナカミキリ	樹林性 (陸上種)	14	谷部の湿潤な樹林環境を有する箇所を選定した。	